

令和三年五月一日 光栄祭

神 示

社会は 時代の力を受けて 運命 常に流れている

社会の変化は必然の姿 人類には流れを変える力はない

この気付きを欠くために 変化にのまれ 実体に泣く 人々 人が多い

信者に申す

今 今日 社会は 調和の姿に戻るため

時代の力を受けて 運命 大きく流れを変えている

変化を受け止め 流れに乗るため 「真理」に生きる 努力 心が必要

「真理」は 家族の心を重ね 「心の道」を太くつなぐ力となる

流れに乗って日々歩む 人 人は皆 家族と正しい関わりを持っている

変化にのまれず 家族の愛に支えられ 夢を持って生きている

なぜ 神は 人間に「教え」を示すのか

過分な よくしん 欲心に実体を下げ 自ら悩み 苦しむ人生を守り 救うため

人間は 親の無償の愛を受けて 良き実体を受け継ぎ 育つ 存在 もの

なれど 現代は 「真理」なき家庭も多く

変化にのまれ 愛が芽吹かずにいる

和 わごころ 心育つ家庭を築く 時代 今こそ 「真理」に生きる 人間 人であれ